

調査視察等の報告書	
令和2年 2月 7日	
日進市議会議長 萩野 勝 様	
議員氏名 大橋ゆうすけ 印	
実施年月日 令和元年 9月 16日	行き先 東京都 (砂防会館)
目 的 北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会の主催する 「国民大集会」への参加をするため。	
報告事項 ※報告事項については、別紙参照	
※別添資料 有	

調査視察地等の報告事項

タイトル

全拉致被害者の即時一括帰国を実現せよ！国民大集会

スローガン

これ以上待てない！全拉致被害者の即時一括帰国を実現せよ！

概要

家族会は拉致被害者の両親や兄弟、子弟などの組織であり、救う会はそれを支える国民有志の組織。活動の目的はただ一つ、「拉致被害者の帰国」。

「国民大集会」は、東京・砂防会館別館（シェーンバッハサボー）に主催の、家族会、救う会、拉致議連、知事の会、地方議連の会の他、安倍晋三総理、菅義偉官房長官（拉致問題担当大臣）等が登壇したほか、会場には、約1,000人が集結。最後には、北朝鮮及び日本政府に対する決議案が採択され、集会を締め括った。

所感

警察庁の発表では「拉致の可能性を排除できない行方不明者（2018年9月現在）」は、883人+αとされており、「ただいま」「おかえり」も言えない家族が日本各地にいます。失踪者がすべて公表されているわけではありませんが、公表されている中には「日進市の方（1名）」も含まれています。

会場において、拉致被害者本人と拉致被害者家族の切実な思いを直接聴いたとき、「愛する家族に数十年も会えなくなってしまう」という、胸の張り裂けるような気持ちを痛切に感じました。

政府が全拉致被害者の即時一括帰国に向けて、国際社会と共に厳しい制裁を維持しているとはいえ、拉致被害者家族も高齢化しており、一日も早く拉致被害者を取り戻さなければ会えなくなってしまう。

家族会は拉致被害者と静かな日常生活を送ることを切望されており、救う会もその実現を日本政府に求めています。

そのような中で、安倍首相は「最も重要な拉致問題の解決に向けて、相互不信の殻を破り、次は私自身が金正恩委員長と直接向き合い、あらゆるチャンスを逃すことなく、果敢に行動いたします。北朝鮮との不幸な過去を清算し、国交正常化を目指します。」と昨年1月28日の施政方針演説で述べられています。

わたくし自身も「北朝鮮から一日も早く決断を引き出したいと願う家族の方々の気持ちを共有し、忘れ去られることのないよう訴え続けていかなければならない事であると改めて感じました。

政務活動事業実績報告書の概要及び成果等

タイトル

全拉致被害者の即時一括帰国を実現せよ！国民大集会

スローガン

これ以上待てない！全拉致被害者の即時一括帰国を実現せよ！

概要

家族会は拉致被害者の両親や兄弟、子弟などの組織であり、救う会はそれを支える国民有志の組織。活動の目的はただ一つ、「拉致被害者の帰国」。

「国民大集会」は、東京・砂防会館別館（シェーンバッハサボー）に主催の、家族会、救う会、拉致議連、知事の会、地方議連の会の他、安倍晋三総理、菅義偉官房長官（拉致問題担当大臣）等が登壇したほか、会場には、約1,000人が集結。最後には、北朝鮮及び日本政府に対する決議案が採択され、集会を締め括った。

所感

警察庁の発表では「拉致の可能性を排除できない行方不明者（2018年9月現在）」は、883人+αとされており、「ただいま」「おかえり」も言えない家族が日本各地にいます。失踪者がすべて公表されているわけではありませんが、公表されている中には「日進市の方（1名）」も含まれています。

会場において、拉致被害者本人と拉致被害者家族の切実な思いを直接聴いたとき、「愛する家族に数十年も会えなくなってしまう」という、胸の張り裂けるような気持ちを痛切に感じました。

政府が全拉致被害者の即時一括帰国に向けて、国際社会と共に厳しい制裁を維持しているとはいえ、拉致被害者家族も高齢化しており、一日も早く拉致被害者を取り戻さなければ会えなくなってしまう。

家族会は拉致被害者と静かな日常生活を送ることを切望されており、救う会もその実現を日本政府に求めています。

そのような中で、安倍首相は「最も重要な拉致問題の解決に向けて、相互不信の殻を破り、次は私自身が金正恩委員長と直接向き合い、あらゆるチャンスを逃すことなく、果敢に行動いたします。北朝鮮との不幸な過去を清算し、国交正常化を目指します。」と昨年1月28日の施政方針演説で述べられています。

わたくし自身も「北朝鮮から一日も早く決断を引き出したいと願う家族の方々の気持ちを共有し、忘れ去られることのないよう訴え続けていかなければならない事であると改めて感じました。